
「青年期アトピー性皮膚炎患者におけるアプロシチニブの有効性と安全性に関する後方視的観察研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年4月1日から2024年5月31日の期間に、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科で、アトピー性皮膚炎と診断された青年期の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

アトピー性皮膚炎患者は痒みや湿疹を慢性的に繰り返す皮膚疾患の一つですが、ステロイド外用治療でコントロールができない患者さんもおります。また、睡眠障害、学業への影響、介護者の生活の質に悪影響を及ぼすことも問題となります。

2021年、経口のヤヌスキナーゼ阻害薬であるアプロシチニブが12歳以上のこれまでの治療で効果不十分のアトピー性皮膚炎に承認され、その有効性と安全性が示されています。今回、当科でアプロシチニブにより治療した青年期アトピー性皮膚炎の患者さんにおける治療効果や安全性、治療の終了について検討します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年10月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年12月6日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究は、新たに患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることなく、これまでの外来診療でのカルテの記載を解析して行う研究です。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科において、研究責任者である高村 さおりが管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

アトピー性皮膚炎合併の水疱性類天疱瘡と診断された患者さんの診療記録等を用います。

2. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

3. 埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり（研究責任者）
埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 斎藤 聡一郎（研究実施者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3637（土日祝日を除く 9時～17時）

○研究課題名：青年期アトピー性皮膚炎患者におけるアプロシチニブの有効性と安全性に関する後方視的観察研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり